

# 北栄菓子を開発しよう

明大 商学部生  
メーカーに協力要請



寿製菓の山根理道総務本部長(右)と意見交換する明治大学商学部の学生たち

北栄町の地域活性化な  
どを研究している明治大  
学商学部の学生3人が26  
日、同町を訪れ、北栄町

の菓子を開発しよう  
方法について菓子メーカ  
ー担当者と意見交換し、  
アドバイスを受けた。  
訪れたのは、水野勝之  
教授(計量経済学)のゼ  
ミで学ぶ、いずれも2年  
生の田村理沙子さん  
(20)、宮川朋佳さん(19)、  
寺本陽平さん(20)。  
3人を含む同ゼミのク  
ループは、町の特産品を  
生かした菓子を通じた同  
町のPRや、地元高校生

との連携による食を通じ  
たイベント開催を研究テ  
ーマにし、研究成果は年  
度末に町長に提言する。  
7月にも来町し、スイカ  
選果場の視察などをし  
た。

今回は、マーケティング  
グの実践として商品開発  
やセールスの方法を学ぶ  
ため、同町中央公民館大  
栄分館で、米子市にある  
寿製菓の山根理道総務本  
部長と意見交換した。  
山根本部長は、開発動  
機や素材など共感を得  
る「物語」、魅力的に表  
現する「魅せ方」、購入  
者の興味を引く「キャッ

チコヒー」など商品開発  
の五つのキーポイント  
を紹介、「開発は誰もや  
らなかつたものに価値が  
ある。固定観念にとらわ  
れず、自由な発想で取り  
組んで」とアドバイスし  
た。

学生たちは、新商品開  
発にかける時間や商品の  
宣伝、販売方法などにっ  
いて質問するとともに、  
協力を要請。山根本部長  
は「地域から発信するの  
が当社のビジネス。提案  
があれば相談に乗りた  
い。試作が必要ならお手  
伝いする」と述べた。  
寺本さんは「北栄町を

全国に発信する方法が  
見えてきた。東京のアン  
テナショップを通じ、商  
品を売ること町の知  
名度を上げたい」と話し  
た。